

委員へのアンケート結果

- 1 次の1～21の中で、10年前と比較して感じている身近な地域の課題について、最も当てはまるものから順に5つ選んで回答欄に番号を記入してください。

	回答数	スコア
1 まちに活気がない。	5	17
2 近所に空き家が増えた。	1	2
3 町内会に入っている人が少ない。	9	36
4 子どもが少ない。	9	28
5 子育ての相談をできる人が周りにいない。	1	1
6 子どもを預かってくれる人が周りにいない。	1	3
7 一人暮らしの高齢者が増えた。	9	23
8 隣近所にどのような人が住んでいるか分からない。	8	25
9 事故が増えた。	2	6
10 違法駐車が増えた。	0	0
11 放置自転車が多い。	0	0
12 ごみの分別ができていない。	1	3
13 ポイ捨てが多い。	2	4
14 落書きされている場所が多い。	0	0
15 活動の担い手が不足している。	12	41
16 活動の財源が不足している。	1	2
17 災害に対する備えが十分ではない。	7	28
18 世代を越えた交流がない。	7	13
19 地域資源が活用されていない。	1	5
20 外国人居住者への対応が不十分である。	2	7
21 働ける場所が少ない。	1	1

※18名中が17名回答。うち1名は4つ、1名は3つ、1名は2つのみ選択。

※回答数は当該項目を選択した委員の数、スコアは各委員が選択した項目のうち、1～5位を順に5～1点として足し合わせた数。

その他意見

- ・ 町内会活動が10年前は活発に行われていた。現在は町内会活動が全くない。老人クラブのみの活動が目立つ状況。
- ・ 大型商業施設の開設を含め、地域開発に計画性・指導性が乏しい。
- ・ 木下あいりちゃんの事件後、地域で「見守りボランティア」が立ち上がって現在に至っているが、皆様高齢で、世代交代し引き継がねばならないが、若い世代は時間がムリ！！
- ・ 共助の精神の欠如。
- ・ 高齢者の移動が困難になった。
- ・ 若年層の地域への関心が薄い。

2 次の1～11の中で、自身が地域の課題解決や活性化のための活動を行う際に感じている課題について、最も当てはまるものから順に3つ選んで回答欄に番号を記入してください。

回答数 スコア

1 担い手が不足している。	15	38
2 参加者が不足している。	9	20
3 活動場所が不足している。	3	6
4 時間に余裕がない。	8	17
5 相談できる人がいない。	1	1
6 財源が不足している。	1	3
7 活用できる補助金があるのか分からない。	1	2
8 補助金の申請の仕方が分からない。	1	1
9 規制が多い。	5	6
10 どのような活動を行っているか分からない。	3	4
11 活動への参加方法が分からない。	1	1

※18名中が17名回答。うち2名は2つのみ選択。

※回答数は当該項目を選択した委員の数、スコアは各委員が選択した項目のうち、1～3位を順に3～1点として足し合わせた数。

その他意見

- ・補助金の申請はよく理解しているが、規制が多く、人数等が問題で申請できない。僅かな会費で老人会の活動をしている。
- ・市役所職員及びOBの方々の仕事を離れての地域での積極的な関わりを果たしていくことの必要性の自覚。
- ・中広地区は学区は広瀬(中区)、社協はじめ関係団体は天満(西区)と、昔から大変活動が難しい地区で、活動だけでなく、その予算もなかなかつけていただけず、どのようにすれば?!と提案しているが、なかなか昔からの流れは変わらない。
- ・補助金申請の際の書類をお役所言葉で書かねばならない猥雑さと結果報告期間の長さ。申請するか否かの参入障壁になっていると思う。
- ・利己主義からか、ボランティア精神の欠如。
- ・活動場所が少ない。
- ・地域課題解決に公助が必要。更なる指導をいただき自助、共助の促進を進めていただきたい。

3 次の1～7の中で、魅力あふれるまちとするために活用したらよいと思う西区の地域資源について、当てはまるものを3つ選んで、その番号に丸をつけてください。

回答数

1 宗箇山(三滝山)や鈴ヶ峰などの緑豊かな山々	4
2 広島湾や太田川放水路、天満川などの水辺	10
3 三瀧寺や西国街道、神楽など地域の歴史や文化	4
4 アンジュヴィオレ広島、広島ドラゴンフライズ、広島メイプルレッズ等のトップスポーツクラブ	11
5 井口・商工センターなどにおける産業の集積	7
6 横川や西広島などにおけるJR駅などの交通結節機能	11
7 平和大通りの緑地帯	2

※18名中17名が回答。うち1名は1つのみ選択。

※回答数は当該項目を選択した委員の数。

その他意見

- ・南観音、マリーナホップの活性化。市内電車の延伸(南観音まで)。西飛行場跡地の活性化。
- ・西飛行場跡地、マリーナホップの有効活用。西区には大学がなくなったので、交通の利便性を生かした大学の誘致。
- ・自然とふれあう企画がよいと思うが、具体的な行事が思い浮かばない。
- ・トップスポーツクラブの活躍と応援、そして西区の財産としての活用。

- 4 次の1～5の中で、将来このようにしたらよいと思う西区の目指すべきまちの姿について、当
てはまるものを3つ選んで、その番号に丸をつけてください。

回答数

1 海・山・川の自然や歴史・文化にふれることのできるうるおいのまち	6
2 様々な人が集い、交流する、楽しさあふれるにぎわいのあるまち	14
3 人と人のつながりをつくる、みんながやさしい、安全・安心で快適なまち	13
4 産業の集積や交通拠点を生かした、人と物・情報が行き交う活動的なまち	14
5 一人一人が行動し、人にやさしい環境を未来に引き継ぐ美しいまち	3

※18名中17名が回答。うち1名は2つのみ選択。
※回答数は当該項目を選択した委員の数。

その他意見

- ・ 広島市西区に隣接する周辺市町村(廿日市等)との共同のまちづくりにも視野を広げる。
- ・ 人だけでなく生きるもの全てにやさしい環境が望ましいと思います。我が町内は3年前から「地域猫活動」に取り組んでいますし、西区のマリーナホップには犬の殺処分ゼロを実施している「ピースわんこジャパン」広島センターもあります。神奈川県は県をあげて予算をつけて実施していて素晴らしい！と感じています。
- ・ 当地のボランティア団体(子ども会や青少年健全育成連絡協議会)の話では、会議したくても公民館はほぼ満杯で、ジャンケンで勝たないと部屋も使えないそうです。三篠地区はボランティアの活動も活発で、そのことが街の活力を生み出していると思いますので、施設不足への対応を願いたい。
- ・ アストラムラインの延伸による環状交通結節の確立。近辺大学が多数存在する割に、学生の拠点が無いのはもったいない。
- ・ 外国人を積極的に受け入れて、差別や排除のない共生の区を目指すべきと思う。
- ・ 安全で安心して生活のできる人と人の心が一つにつながる住民皆で支え合う西区へ。